

福島県学校給食研究会 栄養士部会

第98号

令和3年2月1日
福島県学校給食研究会
栄養士部会
発行責任者 櫻井 長子
担当 会津・南会津方部

会報

「活力ある『学校給食研究会』のために！」

福島県学校給食研究会 北会津支部長 会津若松市立荒館小学校長 吉田 ひとみ

北会津支部には27の小学校と15の中学校があり、会津若松市に8つの給食センター、磐梯町と猪苗代町に各共同調理場が存在します。そして、17校では自校給食が行われています。栄養職員が全てに配置されているわけではなく、給食センター等の献立を自校用に直して活用している学校もあります。そのため、給食研究会の意見交換はとても大切なものとなっています。

本研究会は42校の給食関係者で組織されていて、例年は夏季休業中に「給食研修会」と銘打って、調理員の方々向けの内容を多く含んだ講演会や実技研修を行っています。さらに、秋には栄養職員がT2で入った形での食育の授業を参観し、『食育』の大切さを子供やそのご家族に啓蒙する方法を模索したり、授業方法を研究したりする「食育研修会」を開催しています。

今年度は新型コロナの感染防止のために「給食研修会」は中止し、会員の不安や悩みに応えられるように、専門家のご意見を冊子にまとめて配付することでの代替を計画しています。

「食育研修会」については担当校で密集を避け

て授業を公開してくださったので、十分に注意しながら参観・研究協議を行ってきました。栄養素にも着目し、自分の食事内容の問題点に気づいたり、改善点を意識したりする児童の変容に感心しながら、今後の学校給食でできることについて話し合う機会にもなり、短時間での活動でしたが、とても有意義な時間となりました。

会津は美味しい米もとれ、旬の野菜や果物も地場産物として給食に用いることができます。恵まれた自然環境を生かしながら、さらに、美味しく栄養たっぷりの給食の提供に向けて、会員全員で研修していきたいと思えます。



「食卓」が伝えるもの

福島県学校給食研究会 栄養士部会 副部会長 本田 優子

私事になりますが、昨年夏に手術のため2週間入院しました。コロナ対策のため家族の面会もなく、さみしく心細い入院生活の中、唯一の楽しみは給食でした。手術のため絶食が数日続き、術後に初めて口にした温かい流動食のおいしさは今も忘れられません。食事ができることのありがたさを改めて実感した貴重な体験でした。

ファミレス、コンビニなどで食事が簡単に手に入る世の中です。家族で食事をしていても、スマホを見ている子どもの姿を目にすることがあります。「孤食」の問題として以前から指摘

されていることですが、「食卓」が伝えるもの大切さを痛感します。「食卓」は単に食事をとる場ということにとどまらず「コミュニケーションを図る場」であり、「心を通わせ合う場」であるともいえます。

「新しい生活様式」の学校給食では、「机は前向き」「会話を控える」という形ですが、子どもたちにとってみんなで一緒に食べる給食は楽しい時間であることに変わりはありません。子どもたちへ健康によい食生活のみならず、誰かと一緒に「食卓」を囲む共食の大切さも伝えていきたいと思えます。

食に関する指導に係る全体計画の作成について

福島県教育庁 健康教育課 指導主事 志賀 敦子

学校における食育を推進する観点から、食育の必要性、食に関する指導の目標、全体計画、基本的な考え方や指導方法、食育の評価について示した「食に関する指導の手引—第二次改訂版—」が平成31年3月に作成されました。改訂の目的は「①学習指導要領等の改訂を踏まえる」「②社会の大きな変化に伴う子供の食を取り巻く状況の変化に対応する」の2点です。特に食に関する指導の目標は「食育の6つの視点」を踏まえ、「知識・理解」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力として整理され、学校における食育の一層の推進を図ることが期待されています。この中で、「食に関する指導の全体計画」の作成の必要性が示されており、評価を含めた様式等が記載されています。内容は、各種アンケ

ートや日頃の給食の様子などから児童生徒の実態を把握し、学校の食に関する指導の目標や評価指標を設定、食育推進組織や地場産物の活用、家庭地域等との連携や評価について記載する、「食に関する指導の全体計画①」と教科等横断的な視点でどの教科でいつ、誰が、どのように指導を行うのか、日常の給食指導ではどのように行うのか、肥満等の個別指導をどう行うのかを記載する「食に関する指導の全体計画②」に分けています。令和2年3月に作成された「学校給食の手引—改訂版—」にも作成の手順や様式等が掲載されておりますので御活用いただき、学校全体で食育を組織的・計画的に推進するため作成をお願いいたします。



学校給食会をご活用ください

公益財団法人 福島県学校給食会
常務理事 力丸 忠博

福島県学校給食研究会栄養士部会の皆様には日ごろから福島県学校給食会の事業運営にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、日々の学校給食の運営に並々ならぬご努力をされていることに深く敬意を表します。コロナ禍の中にあっても、子どもたちにとっては一日一日がかけがえのない大切な時間です。本会としても、心身の健やかな成長に欠かせない学校給食を支える重い責任があると考えております。そのため学校休業により市町村ごとに異なった学校給食の実施に際しても、きめ細かく対応してまいりました。

今後も、安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食材を適正な価格で安定的に提供してまいります。本県産品を使用した製品も開発しておりますので、ぜひご利用ください。食育の推進事業については、残念ながら研究会や研修会などの行事を延期せざるをえなくなりました。お詫び申し上げます。代替策として、「学校給食会だより」やホームページ上に資料を掲載しておりますのでご覧ください。これからも皆様に頼りにされる学校給食会を目指してまいりますので、ご活用いただきますようお願いいたします。



文部科学省支出委任事業

「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」について

福島県教育庁 健康教育課
主任栄養技師 根本 真紀子

本県は、今年度文科省支出委任事業「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」において訪問指導と研修会を実施しています。訪問は、10施設の衛生管理状況を「衛生管理チェック表」にて確認し指導・助言を行います。そのため、県要項に基づき実施している「学校給食施設訪問実施状況点検」とは項目が違います。また、研修会は10月郡山市で「学校給食における食物アレルギー対応」をテーマとして開催し、多くの栄養教諭・学校栄養職員の皆様に出席いただきました。食物アレルギー対応では、文科省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」及び日本学校保健会の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」を参考に各市町村教育委員会や学校においてマニュアル等を作成し対応いただいておりますが、昨年度、ガイドラインが改訂され「学校生活管理指導表」の様式が一部変更されましたので、通知のとおり令和3年度より様式を統一し既存マニュアルの改訂や新規作成をお願いします。児童生徒が給食時間を楽しく過ごせるよう安全を最優先するとともに、関係者及び関係機関が相互に連携し組織的に対応することが不可欠となります。今後とも、安全・安心な学校給食の実施に取り組んでいただきますようお願いいたします。

新採用栄養教諭として

いわき市立桶売小学校 栄養教諭 **佐藤 礼奈**

今年度から新しい職場と職種となり、不安もありましたが、周りの皆様に助けをいただき日々過ごしています。

私の勤務する桶売小学校は、自然に囲まれた明るく楽しい学校です。児童は総合的な学習の時間の中で地域を盛りあげる活動をしています。その一環として地域の食にも目を向け、野菜を実際に育てたり、どのような料理にしたらよいか考えたりという活動もしています。給食でも児童の活動を盛りあげるため、地域の食材を取り入れています。中でも、きじ肉を使った肉団子が入っている「まるめ」はしっかりとだしがきいていて人気のあるメニューです。今後、給食を配送している小白井地区の「小白井きゅうり」や川前地区の「ぶどうジュース」を使ったメニューも取り入れていきたいと考えています。地域の食を理解し、これから受け継いでいくことのきっかけとなるような給食を目指し、食育に取り組んでいきたいと思ひます。

充実した食育を進めるため、私自身、日々学ぶことを忘れず、児童生徒の食生活がより良いものとなるよう励みたいと思ひます。

福島市立福島養護学校 栄養教諭 **佐原 裕美**

今年度より福島市立福島養護学校へ着任いたしました。本校は福島県で初めての知的障がい養護学校として昭和40年に開校し、小学部、中学部、高等部が設置され、現在は東北でも2校しかない市立の特別支援学校です。地域とのつながりが大変深く、福島市の特別支援教育のセンター的機能も果たしています。子どもたちは、食べるのが大好きで給食の時間をとても楽しみにしています。子どもたちは知的障がいの個々の特性も個人差も様々であり、配膳の準備や後片付けなど日々個に応じた課題を繰り返す中で、少しずつ自信をつけ生活しています。例えば、牛乳を飲むためにストローを出したり、片付けの時にパックを開いたりすることも手指を強くする大切なトレーニングのひとつです。障がいの特性から机上の知識や技能は断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいこと、成功体験が少ないこと等を踏まえ、学校や家庭生活に直接結びつくよう、視覚的、具体的、肯定的に伝えるよう配慮しています。今後も、子どもたちの心と体が健やかであるよう日々の給食を通して支えていきたいと思ひます。

須賀川市立第二中学校 栄養教諭 **増子 かおる**

4月に中学校に着任し、給食が始まる前に新型コロナウイルスによる臨時休業になってしまいました。休業中、給食の再開を待ちわびる日々でしたが、5月の下旬から学校給食を再開することができました。給食再開に伴い、新しい生活様式への対応や衛生管理の大切さを痛感しつつ、緊張の中での給食の実施でした。毎日の給食を通して、中学生の摂取量の多さや残食などから、おいしく食べてもらうための工夫や食育について考えました。

2学期からは、自校での給食の取組に加えて「ふくしまっ子栄養教室」が始まりました。学校の要望に沿うように内容を毎回考えながら、分かりやすく学習できるように心がけています。初めての子どもたちとの出会いを大切にしながら、自校だけでなく地域の食育推進に取り組んでいきたいと思ひます。

これから、栄養教諭としてどんな要望にも対応できるように、情報収集をするとともに研鑽を積み、未来を担う子どもたちの健康課題の解決に力を尽くせるようにがんばりたいと思ひます。



二本松市立二本松南小学校 栄養教諭 **南場 晶子**

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で給食風景もずいぶん様変わりしました。

食べるための空間を確保するため、配膳は空き教室で行うことや食べる時は前を向きお話しは禁止、おかわりも極力禁止、指導ばかりでなく子どもたちが楽しめる給食時間とは？ということを考える日々です。しかし、そのような状況の中でも子どもたちは、放送で昔話を聞いて楽しんだり学級で学習ビデオを鑑賞したりするなど、制限があっても楽しみを見つける工夫をしております。

新学習指導要領においては、これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても自ら課題を見つけ、考え、判断し行動する子どもを育てるとあります。しかし、この力は子どもだけでなく、私自身にも必要な力だと感じています。様々な困難を乗り越えるため、子どもたちに負けないよう常に学ぶ姿勢を持ち続け、これからの職務に励みたいと考えております。



令和2年度表彰

令和2年度文部科学大臣表彰受賞

[学校給食功労者] いわき市立小名浜第一小学校
 いわき市立小名浜学校給食共同調理場 栄養教諭 赤津 由紀子

公益財団法人福島県学校給食会表彰

[学校給食功労者]	公益財団法人福島県学校給食会	前常務理事	古市 正一
	郡山市朝日が丘小学校	主任栄養技師	金森 由起子
	会津若松市立門田小学校	主任栄養技師	馬場 浩子
	会津若松市立謹教小学校	主任栄養技師	菊地 美恵子
	南会津町立田島小学校	栄養教諭	飯塚 康子
	いわき市立湯本第一中学校	栄養教諭	志賀 保子

[福島県教育長賞] (県産食材活用部門)

会津若松市立城西小学校

令和2年度永年勤続表彰

二本松市立安達中学校	栄養教諭 武藤 真紀	南会津町立田島小学校	栄養教諭 飯塚 康子
郡山市立富田東小学校	栄養教諭 根本 さとみ	相馬市立中村第二小学校	栄養教諭 福山 桂子
郡山市立大槻小学校	主任栄養技師 吉村 浩美	南相馬市立石神第二小学校	栄養教諭 草野 みゆき
郡山市立緑が丘第一小学校	主任栄養技師 窪田 須美江	南相馬市立小高小学校	栄養教諭 渡部 和子
須賀川市立西袋小学校	主任栄養技師 橋本 千代恵	南相馬市立鹿島中学校	栄養教諭 櫻井 長子
浅川町立浅川中学校	主任栄養技師 庄司 祐理	福島県立大笹生支援学校	主任栄養技師 佐藤 理恵子
会津若松市立河東学園小学校	主任栄養技師 永井 マユミ	福島県立郡山支援学校	主任栄養技師 志賀 規江
猪苗代町立猪苗代小学校	栄養教諭 高橋 葉子		

令和3年度 行事予定

- 学校給食施設訪問実施状況点検
6月～12月
- 新規採用学校栄養職員研修「宿泊研修A」
6月1日(火)～6月3日(木) 磐梯青少年交流の家
- 第16回食育推進全国大会
6月26日(土)、27日(日)
岩手県滝沢市(岩手産業文化センター)
- 県学校給食研究会栄養士部会研修会
7月26日(月) 郡山ユラックス熱海
- 栄養教諭・学校栄養職員調理技術講習会
7月27日(火) 県学校給食会
- 第62回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会
8月5日(木)、6日(金) 群馬県高崎市(Gメッセ群馬)

- 新規採用学校栄養職員研修「宿泊研修B」
8月31日(火)～9月2日(木) 教育センター
- 栄養教諭等衛生講習会
9月上旬 県学校給食会
- 学校栄養職員経験者研修II
9月21日(火)～9月22日(水) 教育センター
- 栄養教諭・学校栄養職員研修会
10月19日(火)、10月20日(水)
- 第72回全国学校給食研究協議会
10月21日(木)～22日(金)

北海道札幌市(札幌市民プラザ)



福島県学校給食研究会栄養士部会 ホームページ

<http://www.f-eiyou.jp>

おすすめの献立や給食だより、食育資料など皆様のお役に立つ情報が掲載されています。ぜひご利用ください。

また、「会員専用ページ」を1月に開設させていただきます。

編集後記

会報発行にあたり、お忙しい中原稿をお寄せいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの行事や活動が自粛となりました。来年度は子どもたちが未知のウイルスへの不安から解放され笑顔になれるようお願い、また子どもたちの健やかな成長のために私たちも頑張っていきたいと思います。